

## 【補足説明】

教養学部・総合文化研究科のみなさんへ

## The Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC) 米国での研修プログラム（米国政治関係）2012-2013 Presidential Fellows Program の募集について

標記について、申請を希望する学生は、募集要項等一式を熟読の上、以下の手順で応募書類を提出して下さい。

### 【提出先・問合せ先】

教養学部 駒場 IO サポートセンター（アドミニストレーション棟 1 階）

電 話： 03-5454-4586 / 03-5454-6312

メール：[ryugakusei-g@adm.c.u-tokyo.ac.jp](mailto:ryugakusei-g@adm.c.u-tokyo.ac.jp)

### 【その他及び留意点】

☆2月20日（月）16:30 までに駒場 IO サポートセンターに応募書類一式を提出して下さい。

尚、紙媒体とともに、応募書類のうち、①2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書（Word ファイル・署名前のもの）、②2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書（Word ファイルに写真データ貼付のもの、又は写真を張り付けた上で PDF ファイル化したもの）、③2012-2013 CSPC Application for International Students（Word ファイル）、④英文履歴書(CV)（書式自由）、⑤2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表（Excel ファイル）については、応募締切日までに駒場 IO サポートセンターにメール添付でも送付すること。

送付先：駒場 IO サポートセンター

件名：2012-2013 CSPC フェロープログラム申請（教養学部〇年 / 総合文化修士〇年  
/ 総合文化博士〇年 / 氏名）

データファイル名：「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC Application for International Students」

「(所属・氏名) 英文履歴書(CV)」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表」

### 【応募書類について】

① 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書（所定様式・和文）

申請書欄 14、15 が記入済であることを確認した上で駒場 IO サポートセンターへ提出して下さい。

申請書欄 15 については、下記の窓口で説明を受けた後、署名を貰って下さい。

(学部 1 年生) 教養学部前期課程係 ③番窓口

(学部 2 年生) 24 年度に進学予定の学部担当窓口

(学部 3 年生) 教養学部後期課程係 ④番窓口

(学部 4 年生) 24 年度に進学予定の研究科担当窓口

(大学院生) 総合文化研究科大学院係 ⑤番窓口

② 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書 (所定様式・和文)

裏面「各大学所見欄」は指導教員に記載してもらうこと。

(①、②の記入内容に重複があるが、①は学内用、②は提出用のため、両方省略せず記入すること。)

③ 2012-2013 CSPC Application for International Students (所定様式・英文)

パスポートサイズの写真を別途提出するよう記載があるが、これは②2012-2013 CSPC フェローシッププログラム申込書貼付の写真を代用するため、写真のみのデータ提出は不要。

④ 英文履歴書(CV) (書式自由)

⑤ 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表 (所定様式)

(①～③、⑤の様式は本学「海外留学の案内」ホームページからダウンロードすること。

[http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un\\_cspc\\_fellowsprogram\\_2012-13.html](http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html))

⑥ 大学入学後全学期の成績証明書 (英文又は和文) の写し

⑦ 英語能力を証明する書類

原則、TOEFL PBT/iBT/CBT、あるいは IELTS の成績証明書の写し。その他 TOEIC、実用英語技能検定の成績証明書の写しでも可とする。(受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可)

・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。

・英語能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。(例: 英語圏の高等学校を卒業、等)

**The Center for the Study of the Presidency and Congress(CSPC)**  
**米国での研修プログラム（米国政治関係）2012-2013 Presidential Fellows Program**  
**学内募集要項**

2012.01.31

## 1. 概要

米国の The Center for the Study of the Presidency and Congress (CSPC)が主催する「2012-13 Presidential Fellows Program」への日本人学生派遣プログラムです。米国の若者の公共奉仕、リーダーシップ育成を目的とし、大統領制度、政策プロセス、メディアとの関わり等を研究する機会を同フェロープログラムは提供しています。毎年米国のトップ大学の学生、最大 75 名が参加し、2010 年度は全米各地の大学から 66 名が参加しました。

2011 年度から(株)トヨタ自動車の支援により、国際的視野を持つ日米関係の次世代人材の育成に資するため、日本人学生にも門戸を広げ、各大学を通じて、\*日米研究インスティテュート (USJI) が最終選考を行います。

採用された学生は 10 月の第 1 回フェローシップ会議に参加し、ホワイトハウスや議会のスタッフらと意見交換を行う等、政治の現場を体験します。また、自ら関心のある政治・政策に関わる課題について研究を行った上で、レポートを提出し、3 月の第 2 回フェローシップ会議で発表することが求められます。

\*日米研究インスティテュート(USJI)とは、2009 年 4 月、京都大学、慶應義塾大学、東京大学、立命館大学、早稲田大学(幹事校)の 5 大学が中心となり、安全保障、環境・エネルギー、東アジア共同体・APEC を研究テーマの柱として、ワシントン D.C. に設立した米国 NPO としての資格を取得しているシンクタンクです。将来の日米関係を担う次世代人材育成もミッションの 1 つです。

URL: <http://www.us-jpri.org/index.html>

## 2. 研修地

米国・ワシントン DC

## 3. 研修スケジュール

### <第 1 回フェローシップ会議>

期間：2012 年 10 月 28 日（日）－11 月 4 日（日）（予定）

内容：議会、政府訪問、メンターアサイン、ディスカッション研究テーマ決定等

### <第 2 回フェローシップ会議>

期間：2013 年 3 月 17 日（日）－24 日（日）（予定）

内容：研究成果発表 等

## 4. 派遣学生数

USJI 発起 5 大学から各 1 名推薦し、そのうち年間最大 2 名を派遣する。

## 5. 参加資格

以下の要件をすべて満たすこと。

(1) 申請時及びフェローシッププログラム参加期間を通じ、本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。留学中の学生については、部局担当者を通じ、国際交流課へ事前に相談すること。

国際交流課 ([intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp](mailto:intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp))

\*例年米国側フェロー学生は、参加時に学部4年生であるが、大学院生や優秀な4年生以下の学部学生も応募可能。

\*全ての学科・専攻からの応募が可能。

傾向として過去のフェローの専攻、副専攻は、「政治」、「歴史」、「国際関係」、「ビジネス」、「哲学」、「経済」、「公衆衛生」、「ジャーナリズム」。

(2) 日本国籍を保有していること。

(3) 成績優秀であること (CSPC では US 学生には GPA3.5 以上、平均して A-の成績が望ましいとしている)。

(4) 英語による議論、ライティング能力が米国学生と比べても問題ない能力を有していること。また、アメリカ政府、国際関係への強い興味を持っているとともに、ディスカッションの場で日本の時事問題について語ることができ貢献できること。

(5) 米国大統領制(U.S. Presidency)・米国議会等に直接関連するテーマでオリジナルの研究を行うこと。10-15枚(シングルスペース)の最終報告書を2013年5月までに作成すること。その他、CSPCの要請に応じて Proposal や Blog Post 等の作成等に応じること。

(6) プログラム参加において、授業履修や研究指導等に支障がないこと(授業や学事を理由とした参加期間途中の辞退・中止は認められないので注意すること。)また、申請の際には、本学の授業・試験日程を各自事前に確認の上、履修において不利益とならないよう注意すること。また、派遣時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受け、上記に該当する教員等がない学生は、派遣時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。

(7) 派遣時に所属する予定の部局の担当部署に相談し、申請前に派遣に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名を受け、納得した上で申請すること。

※各部局の担当部署については、後日「海外留学の案内」ホームページに掲載予定。

[http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un\\_cspc\\_fellowsprogram\\_2012-13.html](http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html)

(8) プログラム参加において、指導教員が Faculty Advisor としてプログラム期間中のレポート作成時などに実際に参加学生に対してアドバイス等することについて、事前に指導教員に了承を得ていること。

(9) 参加期間中の不慮の事故や疾病をカバーする海外旅行保険に加入すること。

## 6. 費用

渡航費、現地滞在費、ホテルでの食費 DC 内での会議にかかわる交通費は CSPC が負担。

(但し、現地での医療費、海外旅行保険費用は除く)。詳細については選考決定後に配布される「International Welcome Packet 2012-2013」を参照のこと。

## 7. 応募締切

所属部局により異なるので、各自現在所属する部局の担当部署に確認すること。

※CSPC、USJI の募集要項等記載の締切日とは異なるので注意すること。

## 8. 応募方法

(1) 「9. 応募書類」欄に記載の応募書類一式を紙媒体で、現在所属する部局の応募締切日までに、現在所

属する部局の担当部署へ提出すること。

- (2) 紙媒体とともに、応募書類のうち①2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書 (Word ファイル・署名前のもの)、②2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書 (Word ファイルに写真データ貼付のもの、又は写真を張り付けた上で PDF ファイル化したもの)、③2012-2013 CSPC Application for International Students (Word ファイル)、④英文履歴書(CV) (書式自由)、⑤2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表 (Excel ファイル) については、応募締切日までに現在所属する部局の担当部署宛にメール添付でも送付すること。

送付先：所属部局担当部署

メールタイトル：2012-2013 CSPC フェロープログラム申請 (所属・氏名)

データファイル名：「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC Application for International Students」

「(所属・氏名) 英文履歴書(CV)」

「(所属・氏名) 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表」

## 9. 応募書類

- ① 2012-2013 CSPC フェロープログラム学内申請書 (所定様式・和文)  
必ず署名を入手すること。
- ② 2012-2013 CSPC フェロープログラム申込書 (所定様式・和文)  
裏面「各大学所見欄」は指導教員に記載してもらうこと。  
(①、②の記入内容に重複があるが、①は学内用、②は提出用のため、両方省略せず記入すること。)
- ③ 2012-2013 CSPC Application for International Students (所定様式・英文)  
パスポートサイズの写真を別途提出するよう記載があるが、これは②2012-2013 CSPC フェローシッププログラム申込書貼付の写真を代用するため、写真のみのデータ提出は不要。
- ④ 英文履歴書(CV) (書式自由)
- ⑤ 2012-2013 CSPC フェロープログラム成績評価係数計算表 (所定様式)  
(①～③、⑤の様式は本学「海外留学の案内」ホームページからダウンロードすること。  
[http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un\\_cspc\\_fellowsprogram\\_2012-13.html](http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html))
- ⑥ 大学入学後全学期の成績証明書 (英文又は和文) の写し
- ⑦ 英語能力を証明する書類  
原則、TOEFL PBT/iBT/CBT、あるいは IELTS の成績証明書の写し。その他 TOEIC、実用英語技能検定の成績証明書の写しでも可とする。(受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可)
  - ・その他の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。
  - ・英語能力試験等を受験していない場合は、参加コースを受講するのに必要な英語能力を有していることを説明する理由書 (様式任意。ただし A4 サイズ) を提出すること。(例：英語圏の高等学校を卒業、等)

## 10. 選考

- (1) 本学において3月に学内選考を行い、派遣候補学生をUSJI 日本オフィスへ推薦する。
- (2) 学内選考の結果は3月中に、申請部局の部局長あてに通知する。
- (3) 【USJI での選考】各大学で1名選考された上、日米研究インスティテュート (USJI) で最終選考を行う。最終選考結果は、4月中旬 (予定) にUSJI 日本オフィスより各大学窓口および学生本人へ連絡する。

#### ※個人情報の取り扱い

提出書類に記載された情報は、全て各大学事務局を通じて、USJI および CSPC に提供されますので、予めご了承ください。なお、いただいた情報は、厳重に管理の上、このプログラムの目的以外には使用いたしません。

### 1 1. 受入決定後の留意事項

- (1) 渡航手続き等は、CSPC、USJI 等の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。
- (2) やむを得ない事情により派遣を辞退しなければならない場合は、早急に所属する部局の担当部署を通じて本部国際交流課へ連絡すること。
- (3) 一般的な海外渡航のための情報や危機管理等については、本学ホームページ「東京大学 海外留学の案内」を参照すること。<http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/index.html> また、派遣期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (4) 所属部局の指示に従い、海外渡航に必要な手続きを行うこと。(手続きについては、派遣時に所属する部局の担当部署にて相談すること。)
- (5) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより指導教員等の関係者に迷惑をかけないように努めること。

### 1 2. プログラム参加の際の注意事項

- (1) 本プログラムの趣旨を十分理解の上、十分な学習成果を挙げ、プログラムを修了することに努めること。
- (2) 本学から選抜された代表学生として派遣されることを自覚し、派遣先国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

### 1 3. 留学後の報告等

- (1) 派遣学生は、プログラム終了日から2週間以内 (必着) に「2012-2013 CSPC フェロープログラム報告書」(所定様式) を本部国際交流課([intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp](mailto:intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp)) へ提出すること。なお、提出された報告書は、学内外の広報等に活用する可能性があるため、個人情報の観点等を十分に鑑み、出版物・ホームページ等に掲載可能な内容とすること。
- (2) 応募時の申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。帰国後の必要事項の連絡の際に必要となる。

### 1 4. 関連ホームページ

CSPC 概要 :

<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program>

参加校 :

<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program/fellows-schools>

前年内容：

<http://www.thepresidency.org/what-we-do/current-programs/presidential-fellows-program/international-presidential-fellows>

東京大学「海外留学の案内」ホームページ：

[http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un\\_cspc\\_fellowsprogram\\_2012-13.html](http://www.adm.u-tokyo.ac.jp/res/stuex/university/un_cspc_fellowsprogram_2012-13.html)

## 15. 問い合わせ先

- (1) 申請の手続きに関すること：現在所属する部局の担当部署
- (2) その他の事項：本部国際交流課学生・研究者交流チーム ([intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp](mailto:intex-ut@ml.adm.u-tokyo.ac.jp))



## CENTER FOR THE STUDY OF THE PRESIDENCY AND CONGRESS

### International Presidential Fellows Program Fall Leadership Conference Summary *October 31-November 5, 2011*

**A**s the ability to collaborate with international counterparts and build a professional network that spans the globe becomes increasingly important for public service and business leaders in all fields, CSPC is working to expand our Presidential Fellows Program to include not only top students from U.S. colleges and universities but also those from around the world.

On October 31, 2011 CSPC welcomed Ms. Miki Ito from the University of Tokyo and Mr. Kenji Hayata of Waseda University as our inaugural International Presidential Fellows. These Fellowships were made possible by a generous gift from Toyota Motor Corporation and in partnership with the U.S.-Japan Research Institute (USJI) for the selection of the students.

Mr. Kenji Hayata is a senior at Waseda University where he is majoring in Economic and Industrial Development in East Asian Countries with a minor in Political Science. He is an intern with Foreign Affairs Japan, and is interested in researching the role of think tanks in the United States and how similar institutions might be established in Japan. He also spent a year studying in the United States at Bates College and a summer in DC working for the NHK Washington Bureau.

Ms. Miki Ito is a senior at the University of Tokyo where she is majoring in Law. She is a member of the U Tokyo Legal Consulting Office, and is interesting in researching the key components of great American leadership. She spent her junior high and high school years in the United States, graduating cum laude from Choate Rosemary Hall.

On their first day in Washington, DC, the International Fellows visited George Washington's Mt. Vernon Estate for a tour of the grounds and a discussion of Washington's impact on the formation of the U.S. government and critical precedents for the Presidency. In the afternoon, the Fellows went to the Embassy of Japan for a meeting with Ambassador Ichiro Fujisaki. Ambassador Fujisaki fielded the Fellows' questions on the U.S. response to the recent earthquake and tsunami and the Ambassador's role in helping to coordinate aid; Japan's role internationally, especially as it relates to the rise of China; and the Trans-Pacific Partnership Agreement.



*The International Fellows meet with Ambassador Ichiro Fujisaki and CSPC President Dr. David Abshire*

In honor of Halloween, the Fellows concluded their day with a tour that visited many of the historic homes near the White House and heard many of the famous ghost stories associated with Presidents and other political leaders.





## CENTER FOR THE STUDY OF THE PRESIDENCY AND CONGRESS

The following morning the Fellows met with Dr. Jim Pfiffner, University Professor at George Mason University and noted scholar of the Presidency, and Mr. Bill Breer who had a distinguished 35-year career in the Foreign Service including 18 years at the U.S. Embassy in Japan reaching the rank of Deputy Chief of Mission and later became Japan Chair at CSIS. The International Fellows were able to ask detailed questions on their research subjects and get feedback from Dr. Pfiffner and Mr. Breer on the formation and function of think tanks in the U.S., the recent lack of compromise and political standstill on Capitol Hill, and the differences in political leadership in the U.S. and Japan.



*The International Fellows meet with Mr. Bill Breer and Dr. Jim Pfiffner*

Later that day the Fellows visited Capitol Hill, where they met with Ms. Elyse Bauer Anderson, Foreign Policy Director for Congressman Frank Wolf (R-VA). They discussed a range of issues including Congressman Wolf's work in human rights and religious freedom. That evening they watched the Capitals, Washington's ice hockey team, defeat the Anaheim Ducks in overtime.

Wednesday's events included a meeting with Ms. Meredith Broadbent, Scholl Chair for International Business at the Center for Strategic and

International Studies. They discussed the Trans-Pacific Partnership Agreement and other free trade agreements on the horizon for Japan and the United States. Ms. Broadbent was also able to explain to them the differences of environment from working in government as a professional staffer on the House Ways and Means Committee and as an assistant U.S. trade representative and her current work in a think tank. On Wednesday evening Mr. Shunji Yoshida, Vice President and Coordinating Officer of Toyota North America, took the Fellows out for dinner which also included Mr. Nobuaki Yasunaga, Manager of USJI's Washington, DC office.

On Thursday morning, Toyota North America hosted the International Fellows and the Toyota Fellow from Howard University Shelby Allen for a presentation. Mr. Sumio Ohtsuji, Senior Vice President and Chief Coordinating Officer, discussed with the Fellows Toyota's operations in North America, and Mr. Tom Lehner, Vice President for Government Affairs, discussed his work as a lobbyist for Toyota. The Fellows also had the opportunity to meet Mr. Yoshimi Inaba, President and Chief Operating Officer of Toyota North America.

The portion of the conference just for International Fellows concluded with a meeting with Dr. Greg Smith, Senior Researcher at the Pew Forum on Religion and Public Life, who gave them a presentation and answered questions on how religion and politics intersect in the U.S. He presented data from recent elections that show how consistently religious affiliation can predict party preferences in the U.S. After the meeting with Dr. Smith, the International Fellows joined the U.S. Presidential Fellows coming in from all over the country for the Welcome Lunch of the Fall Leadership Conference.



## CENTER FOR THE STUDY OF THE PRESIDENCY AND CONGRESS

### Presidential Fellows Program Fall Leadership Conference, November 3-5, 2011

On November 3<sup>rd</sup>, the Center welcomed the 2011-2012 Presidential Fellows class to Washington, DC, for the Fall Leadership Conference at the Crowne Plaza Hotel. Sixty-six students from colleges and universities around the country joined the International Fellows and began the conference with a welcome lunch introducing the program.

After lunch, the conference kicked off with an engaging discussion on leadership and ethics led by the Honorable Togo West, former Secretary of the Army and Veterans Affairs. Secretary West touched on how leadership is defined differentially, based on institutions and individuals; the need for a code or a cause in order to be an effective leader; and how great leaders have standing principals. He offered several examples of challenging situations that he faced in his own career and answered a range of questions from the Fellows on leadership.



*Secretary Togo West addresses the Fellows*

Later that afternoon, the Fellows divided into six issue groups to discuss the development of their research papers with their peers and alumni counselors. The final papers that the Fellows will submit to the Center in May will be the culmination of many months of researching, writing, editing, and consulting with their on-campus faculty advisors, professional mentors provided by the Center, and their peers at the Fall and Spring Conferences. The top two papers will receive awards at the Center's Annual Awards Dinner in the spring, and the top twenty papers will be published in our annual anthology *The Fellows Review*, in the summer.



*The Presidential-Congressional Relations group meets to discuss their papers.*

On Thursday evening, the Center hosted a special dinner, film, and discussion on leadership and reform. The Fellows watched *Street Fight*, an Oscar and Emmy-nominated documentary on the 2002 mayoral campaign of Cory Booker in Newark, New Jersey. The film highlighted the challenges of ethical leadership in a political campaign and difficulties facing Booker as he challenges four-term incumbent Mayor Sharpe James and promotes reform in Newark.



## CENTER FOR THE STUDY OF THE PRESIDENCY AND CONGRESS



*West Point Fellow Gabriel Royal chats with Adrian Fenty after the speech*

After the film, former Mayor of Washington, DC Adrian Fenty discussed his experiences and campaign for re-election in 2010. Mr. Fenty talked about his aggressive educational reforms which improved test scores by 14%-17% in the DC school system after only two years but also left some of his constituents feeling excluded from the reform process. He also stressed the importance of tying funding to serious reforms and holding teachers accountable for students' successes as well as their failures. After his speech, Mr. Fenty took questions from the Fellows about how his reform efforts impacted his electability and about his views on various education reform efforts being promoted across the country.

On Friday morning the Fellows headed to Capitol Hill to meet with House Minority Leader Nancy Pelosi (D-CA) and Chief Deputy Majority Whip Peter Roskam (R-IL). During her address, Leader Pelosi discussed the danger of losing the American Dream and the importance of one generation taking responsibility for the next generation. She also encouraged the Fellows to pursue careers in public service but warned that it is not "for the faint of heart." Leader Pelosi also talked specifically about

the need for more women in public service. At the end of her speech Leader Pelosi gave each Fellow a copy of her book *Know Your Power: A Message to America's Daughters*.



*Leader Pelosi speaks to the Fellows in the South Congressional Meeting Room.*

Next, the Fellows met with Congressman Roskam, who discussed the ideological differences between the two parties' approaches to economic recovery. While acknowledging these differences, he emphasized the significance of compromise and the need to find a common ground. He said he believed common interest could be found on free trade agreements and reforming the U.S. tax code.



*Northwestern Fellow Jonathan Green asks Congressman Roskam a question*



## CENTER FOR THE STUDY OF THE PRESIDENCY AND CONGRESS

After the meetings, the Fellows returned to the hotel for a lunch with their mentors, professionals who are paired with Fellows to advise them on their paper and on potential career paths. The mentor lunch was followed by a lecture from by Dr. James Zogby, the Founder and President of the Arab American Institute. Dr. Zogby spoke about his concerns with U.S. foreign policy in the Middle East. He argued that most citizens and even politicians know little about the Middle East, which has led to ill informed policy and two wars.

Dr. Zogby stressed the importance of having more dialogue and education about the region especially with the recent developments of the Arab Spring. Lastly, he expressed his hope that with the Millennial generation and those afterwards, the United States would become a nation increasingly tolerant of religious and cultural differences. After the speech the Fellows met again with their peer groups to discuss their paper proposals.



*Columbia University Fellow Charles Stam asks Dr. Zogby a question*

On Saturday morning, Center President Dr. David M. Abshire gave a lecture on leadership and shared his experiences in Washington. He told stories from his roles as Assistant Secretary of State for Congressional Relations (1970-1973), Special Counselor to President Ronald Reagan (1987), and

the U.S. Ambassador to NATO (1983-1987). He also encouraged the Fellows to engage in the public policy process and dedicate at least part of their careers to public service.



*Dr. Abshire shares stories from his time in Washington*

Before heading back to their respective colleges and universities, the Fellows gathered in their peer groups a final time to discuss plans for the further development of their papers. In early February, the Fellows will turn in first drafts of their papers to be judged for the Marron and Moffett Awards that are given out at the Center's Annual Awards Dinner during the Spring Fellows Conference.



*Waseda University Fellow Kenji Hayata and University of Wisconsin-Madison Fellow Alex Sommer listen as one of their peers presents*



## CENTER FOR THE STUDY OF THE PRESIDENCY AND CONGRESS

The Center is grateful for the generous support of the donors that make the Presidential Fellows Program possible. We would like to give special thanks to Toyota Motor Corporation of Japan for support of the International Presidential Fellows. We would also like to give special thanks to Toyota Motor North America and the Dr. Scholl Foundation. Our continued gratitude for the establishment of Endowed Fellowships goes to Mr. Andy and Mrs. Avery Barth, the Goldman Sachs Foundation, the Hoxie family, the Tucker Foundation, and Mr. Steve Schwarzman. And our sincere thanks for the support of our Named Fellowships goes to the Arthur Ross Foundation, the Honorable Wayne Berman, Mr. Michael K. Farr, Mr. John Firestone, Mr. Bradford Freeman, Dr. Robert Kilmarx, Mr. Michael C. Maibach, Mr. and Mrs. Thomas F. McLarty, Mr. William J. Mills, Mr. Robert Mosbacher Jr., and Ms. Pamela Scholl.

### ENDOWED FELLOWSHIPS

- The Andrew Barth Fellowship at  
*Columbia University*
- The John C. Whitehead Fellowship at  
*Haverford College*
- The R. Gordon Hoxie Fellowship at  
*Long Island University*
- The Avery Barth Fellowship at  
*University of Southern California*
- The David M. Abshire Fellowship at  
*United States Military Academy*
- The General Edward C. Meyer Fellowship at  
*United States Military Academy*
- The Admiral Michael Mullen Fellowship at  
*United States Naval Academy*
- The David M. Abshire Fellowship at  
*University of Tennessee- Chattanooga*

For more information about the Presidential Fellows Program please contact:

Parry K. VanLandingham  
Director of the Presidential Fellows Program  
[pvanlandingham@thePresidency.org](mailto:pvanlandingham@thePresidency.org)

Phone: (202) 872-9800  
Fax: (202) 872-9811

1020 19th Street, NW, Suite 250  
Washington, D.C. 20036  
[www.thePresidency.org](http://www.thePresidency.org)

# THE PRESIDENTIAL FELLOWS PROGRAM BLOG

www.presidentialfellows.wordpress.com



- Read about what the 2011-2012 Presidential Fellows are researching for their papers.
- Posts can be viewed by the Peer Discussion Groups the Fellows have been divided into (right hand column).
- Please feel free to leave a comment for any of the Fellows!